

+Affiliated with the International Association
THE Y S MEN S CLUB OF TOKYO HACHIOJI
Chartered October 30, 1994



〒192-0906
東京都 八王子市北野町 575-22
並木 真 TEL : 090-4314-3044
Fax: 042-649-5276
E-mail: m.namiki1020@heartbeat@gmail.com

2024年9月

The Service Club of The YMCA

第351号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長	並木 真	国際会長 A シャナヴァスカーン (インド) 主題「より良い世界のために、共に」
副会長	久保田 貞視	スローガン「立ち上がろう、そして輝こう」
書記	小口 多津子	アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウォン (台湾) 主題「大きなインパクトを起こそう」
会計	長谷川あや子	スローガン「大胆に、信念を持って奉仕しよう」
直前会長	花輪 宗命	東日本区理事 山田 公平 (宇都宮) 主題「ワイズの方向性を見極める」
担当主事	菅野 牧夫	スローガン「ユースエンパワーメントをYMCAと共に」
プリテン	山本英次 大久保重子	あずさ部部長 ピーター・マウントフォード (甲府) 主題「めあて 望み」
		八王子クラブ会長 並木 真 主題「協働と共感」

2024年9月例会プログラム

(クラブ設立30周年記念例会準備例会)

担当班C班(山本、大久保、菅野、並木(信))

日時:2024年9月14日(土) 18:00~20:00

会場:北野事務所2階 会議室

受付:大久保、山本

司会:菅野

<プログラム>

- ・開会点鐘 並木(真)会長
- ・ワイズソング 一同
- ・ワイズの信条 一同
- ・聖書朗読・祈祷 並木信一
- ・ゲスト・ビジターの紹介 並木(真)会長
- ・クラブ設立30周年記念例会の成功に向けての準備
30周年記念例会実行委員長 久保田貞視
- ・諸報告 会長・YMCA・各担当他
- ・スマイル 大久保重子
- ・ハッピーバースデイ(大久保重子、稲葉憲司)
- ・閉会点鐘 並木(真)会長

巻頭言

30周年記念会を目前にして 書記・小口多津子

この秋、10月26日にクラブ設立30周年を迎えます。誰もが最初に出てくる言葉はただ一言、「感無量」だと思います。こんなに早くに月日の流れを実感する日が来るとは。チャーターメンバーの草創期の方々には、言葉もないと思います。1994年、八王子には基盤のYMCAが無い中で作られた時、どのような説明の台本があって、人集め、とにかく規定人数15人のメンバー集めに奔走されたのか、その大変さは、これまでに折に触れて語られてきました。八王子にクラブを作ろう・・というのはごく少数の家庭的な集まりの中からふと湧き出てきて、有言実行、すぐ動き出した方が仕事も放りだして走り回ったという事でした。設立から5年後に私は初めて、クラブの例会に出席しました。その例会での卓話のタイトルは今でも覚えています。「年金の話」でした。卓話者山下さんというお名

今月の聖句(2024年9月)

神はどのような苦難のときにも私たちが慰めてくださるので、私たちが神からいただくこの慰めによって、あらゆる苦難の中にある人々を慰めることができます。キリストの苦しみが私たちに満ちあふれているように、私たちの受ける慰めもキリストによって満ち溢れているからです。

(新約聖書 コリントの信徒への手紙二 14:5)

前だけ憶えています。その年(設立 5 年目)には早くも DBC 締結で大阪セントラルクラブとの交流がスタートしています。

続いて、街頭募金の時に偶然に通りがかった学生だった当時の佐藤絵里子さんと出会い、そのチャンスを逃さなかったことで、同じ八王子市の中央大学「学Yひつじくも」との交流がスタートして、今やクラブには欠かせない学生さん達です。さらに設立から15年後には、IBCの台湾・高雄港クラブとの交流がスタートしました。この交流が今も続き今回の30周年記念会の為に、高雄・港クラブから7名の方が来日されます。どんどん八王子クラブは夢人も内容も膨らんでいきました。やはり肝心なのは、ずっと続けていくにはキーパーソンがクラブ内での大きな役を担ってきたからだと思います。交流が広がれば自然に行動も広く、支援やボランティアの場が増えていきました。



私はある国際大会の折の、国際会長の言葉が今も忘れられません「地の塩 世の光」からの引用でした。「ボランティアは地域にまかれてこそ、社会の為になる、でも味が付かなければ社会の為にはならない、その味を付けるのがワイズであり、YMCAである」。

クラブは、DBC、IBC、ひつじくも、との交流やチャリティコンサートがずっと、1年間の定着したプログラムに入っていてこそ、30年間を受け継いできたわけです。今、思うことは、その草創期に生き生きとクラブライフ担って下さったかつての先達たち、また引退された方がたの思いが生きていることを、忘れないことも今の私達メンバー役目だと思えます。



30周年記念

感謝会における並木会長の挨拶

2年目の会長 並木 真

会長をさせて頂いております並木真でございます。昨年度も会長させて頂き、今年度も会長させて頂いておりますけれども、こんな私がやらせて頂いているのは、やはり、皆様の非常にしっかりした基盤があるので、私が思ったことを言えるというようなことも非常にあると思います。本



当に、このクラブに参加させて頂いてよかったなと思っています。

私が八王子ワイズメンズクラブに入会したのは、2019年7

月です。その少し前に、父からも「そろそろ、ワイズメンズクラブに入ってみたらどうだ。」という話がありました。ちょうど私も入ってみてもいいかな、と思っていたところでした。なぜかという、私には子供が2人いますけれども、学校の「おやじの会」に入っていました。そこでは割と同世代のお父さんたちとのつながりがあります。会社と「おやじの会」だけでは世代というか、決まった人たちとのつながりがない、もっといろんな世代の人たちと知り合いたい、できれば年上の方たちともお話をし、自分の幅を広げられたらという思いで、このワイズメンズクラブに参加させて頂きました。

昨年はコロナ禍が溢れて、ひつじくもの若い人たちとゴミ拾いをしたり、草刈りをしたりいろんな活動、チャリティーコンサートを手伝ってもらったり、一緒に活動して何か一つできたなという思いがあります。

今年度のユースアクションでも中央大学ひつじくもが活動します。先ほど藤原君が言ってくれたように、川口市で外国籍を持つ人たちとの交流を持つということです。プレ・イベントが10月にあって、12月にまた本番があります。そこでぜひ、私たちがそれに邪魔にならないように参加をさせて頂いて、共に感じる事ができればいいなと思っています。

今朝、昨日の日経新聞を読んでいましたら、6万8千人、日本語の教育が必要な子どもたちがいる、という記事がありました。こういう話はもっと広がって欲しいと思いますので、ワイズメンズクラブ、YMCAともにそういった活動をもっと活発にできて、若い人たちと一緒に、私たちが支えてなってそういう活動を進めていけたらと思っています。また今年度も会長をやらせて頂きますけれども、皆様のお力あっての私でございますので、今まで通りよろしくお願ひします。

感謝とお礼といろいろ

佐藤信也

YMCA ってどんなような団体なのかというのを教えていただいた

のが並木信一さんでいらっしゃる

います。それと共にお

酒も教えていただいた

のが並木信一さんです。

当時、僕はプールのスタッフだったものだから、プールの指導後に、



疲れ

たな～疲れたなって言

ってプールからスタッ

フルームへ帰って来

ると並木信一さんがい

らっしゃって飲みに行

くぞ～とお誘い頂き、

焼き鳥をつまみにしなが

らY'sメンズクラブの働きなが

らお話もちろんその時に学ばせていただきました。

今はこうやってメンバーとして関わらせていただいて、YMCA スタッフでありながらも八王子の Y's メンズクラブに関わらせていただき感謝をしております。

特に今回の例会は会長への感謝の例会でありますので、並木真会長へ一言。いつもアグレッシブにいろいろな働きをしていただき、Y's メンズクラブの活動はもちろんのこと、会員部の中でも様々なお役を引き受けて頂きご活躍をさせていただきます。体一つしかないのに大丈夫かなって思っていますが、そのフットワークの良さに共にYMCA 運動を支えていただいている一員だなと感じます。まさにYMCA とY's メンズクラブが本当に一緒になってこの運動を支えていくんだということを身をもって示されていらっしゃる方であると尊敬し、その働きに本当に感謝をしております。

これからも八王子 Y's の皆さんとともに八王子クラブを盛り上げていただき、ひつじくもをはじめ若い世代の人たちとの結びつきをさらに強くして八王子 Y's の働きも楽しみましょう。

真会長、一年間本当にお疲れ様でした。

そして、これからの1年もまたよろしくお願ひ致します。



?歳のOG福田勝江さん



居酒屋北海道にて



2024 年度直前会長感謝会

久保田貞視

8月10日、並木真会長の直前会長感謝会はこれまでの会場を替えて JR 八王子駅北口の居酒屋「北海道」で開催しました。クラブ会長を2年継続したのは当クラブでは30年前の設立間もないころ、富永ワイズが2年間会長を継続して以来2度目です。

会員の高齢化が進む中で第2世代の並木真会長が会長の大役を担うべく



れて

当クラブ

に新風

を吹き込んでいただき、これからの1年、さらにクラブ活動を盛り上げてくれるのを期待しています。

今回はメンバーの功に中央大学ひつじくもの学生2名に休会中の福田さんが若い女性の友人二人を連れてこられたので合計19名となりました。

花輪ワイズの司会で会が始まり、直前会長への感謝の言葉は会長継続のため久保田副会長が、今後の当クラブ発展の原動力となって欲しいとお願いを込めて記念品は彼の大好きな酒のグレードを上げたのを差し上げ、節度ある飲み方で健康を維持して仕事にワイズに勢力を

投入していただきたいとお願いしました。

今回はゲームなどは取り入れず、参加者全員が一人一人直前会長に対する感謝の言葉と期待、各自の関りについて意見を述べました。

今年はクラブ設立30周年、この感謝会でも会場の「北海道」が「東京八王子ワイズメンズクラブ設立30周年記念」の横断幕をプレゼントしてくれました。私たちクラブにとって大きな節目となり、各自が設立当初の新たな気持ちをもって諸活動を精力的にこなしていくことを心に留め散

会となりました。福田さんの若い友人がワイズへの興味は持ってくれても入会には諸事情でハードルは高いでしょうが出席されて喜んで頂き、ワイズを理解されただけでも声をかけた意味があったと思われま

す。来年の直前会長感謝会は設立30周年記念行事も終わると共に今後のクラブの方向性も決まり新しいメンバーも増えてより活気のある会になって欲しいと願っています。



わくわくビレッジ便り

館長:菅野牧夫

心配された台風もやっとぬけて、晴れ空が戻ってまいりました。まだまだ暑いですが、空は少し秋を感じるようになってきました。9月に入り、次年度契約と予約の解禁が一機に来てあたふたしていますが、強い仲間が功をいたしました。ワイズメンズの皆様はご存じの綿引さんの息子さん、わくわくビレッジスタッフの一員に加わりましたので紹介いたします。

<綿引裕介>はじめまして！7月より高尾の森わくわくビレッジの配属になりました綿引裕介と申します。今まで東陽町センター、山手センター、また昨年度に新設されたウェルネスガーデン品川御殿山などでウェルネスの部署に所属し、子どもたちの水泳指導の業務を中心に取り組んできました。また、豊洲にあるグランチャ東雲(高齢者と子どものための施設)でも3年間業務にあたらせていただきました。

わくわくビレッジではフロントスタッフとしての配属のため、はじめて携わることも多くありますが、共に働くスタッフの方々にご指導いただき、色々な業務に携われるよう頑張っていきたいと思っております。

生まれも育ちも八王子のため、八王子駅を中心に色々な場所に歩きに行くことが趣味の一つです。八王子駅から甲州街道に沿って高尾駅まで歩いたり、北野駅を経由して片倉駅方面に抜けるなど色々なルートを散策しながら運動として歩いています。また、食べることも好きなため色々なところを散策しながら美味しそうなお店を探しています。

わくわくビレッジでの業務に取り組むにあたり、八王子という地域の良さを改めて自分自身でも確認し、地域の皆様と協働できるような取り組みもできたらと考えております。まずは目の前の業務に積極的に取り組むこと。そして、一人ひとりに寄り添い、皆さんがまた訪れたいと思えるようなサービスや環境を提供できるように努力していきたいと思います。

ぜひ機会があれば、皆さんのわくわくビレッジのご利用を心よりお待ちしております！



消防訓練

東京YMCA 近況報告

担当主事 菅野牧夫

- 8月7～11日、「第15回キッズワールドカップ in 韓国」がソウルYMCAドラグオンキャンプ場で開催され、東京YMCAから11名の小学生が参加した。サッカーの試合やレクリエーション等を通じて、韓国をはじめアジア各国の子どもたちと交流した。
- 全国のYMCAが協力し、能登半島地震の子どもたちを対象とした2つの「リフレッシュキャンプ」が国立立山青少年自然の家を会場に実施された。8月9日～12日の「能登立山キズナキャンプ」には小中学生28名が、また8月18日～20日の「能登立山フレンドシップキャンプ」には小学生13名が参加した。今後11月2日～4日には東京YMCA主催により、国立能登青少年交流センターにて、被災した子供たちを対象としたキャンプを実施する予定。
- 東京YMCA野尻キャンプが所有する、約100年の歴史を有する貴重なヨット「オメガ」の修繕募金を開始した。船底防水加工作業の費用として、100万円を目標に9月末まで募金を受け付ける。オメガはグループの仲間と一緒に乗れる大きな船体のヨットで、キャンプに参加した子どもたちに親しまれている。
- 8月1日～9日、東陽町コミュニティセンターで、「ヒロシマ・ナガサキ 原子爆弾の記録」パネル展が開催された。写真パネルや被爆者の声など、原子爆弾に関係する貴重な資料の展示を通して、平和といのちの尊さを考える機会となった。
- 今後の主な行事予定
 - ・関東大震災第101周年記念追悼合同早天祈祷会)9月2日(在日本大韓基督教会東京教会)
説教・金迅野牧師(在日本韓国YMCAと共催)
 - ・「日韓YMCA連絡委員会」9月8日～11日 会場:ソウル市内
 - ・「2024 災害スタディ ～防災まち歩き」9月14日 東陽町センター
(共催:社会福祉法人 江東区社会福祉協議会)
 - ・「第38回インターナショナル・チャリティーラン」9月28日(都立木場公園)
 - ・「J.T.スウィフト主事&ミラー主事墓前礼拝」(横浜YMCA共催)10月26日(横浜外国人墓地)
 - ・「国際協力一斉街頭募金」11月2日 新宿駅周辺
 - ・「第26回愛恵エッセイ」11月15日まで作品募集(愛恵福祉支援財団との共催)
テーマ:豊かな福祉社会を創るために一戦後80年になるんだって!？」
- 深 悼 謹んで哀悼の意を表します。
・長年にわたり、「キングラデッシュ奨学基金チャリティーコンサート」等により東京YMCAの国際協力活動や震災復興支援活動にご協力いただいたフォークシンガーの高石ともや氏が、8月17日に逝去された(享年82)。

今月の聖句によせて(2024年9月)

先日、大学同期で、ただ一人高校も同じであった友人の告別式に列席しました。同期生同士の結婚で、奥さんも親しい友人です。今春、都内で開いた同期会で会って会話を交わしたばかりだったので、他の友人たちとも大きなショックを共有しました。

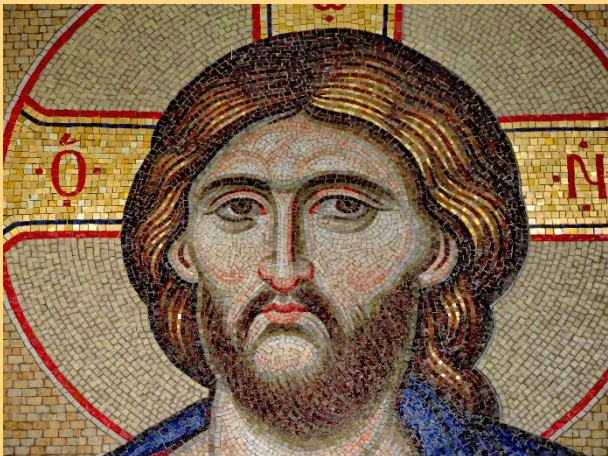
ショックと共に、告別式に列席した仲間ともあらためて共有した思いがあります。

あらためて私たちが知らされる大切な一つは、すべてこの世にある者は、必ず終わりを告げられるということ。

一人として永遠に生き続けることはできず、遅かれ早かれ終わりを告げられる時が来ること。しかも、その終わりの時は予期しないできごととして私たちに襲い掛かるといふこと。このできごとに出会った時、私たちは深い悲しみのなかに突き落とされますが、このことの意味はなにか、ひとりひとりにひとしく問われていることなのだとということ。

同期の友人の永眠の報告は、友人である奥さんからではなく、娘さんからのものでした。奥さんは、夫の永眠の事実から、ショックで話ができないので代わりに、ということでした。告別式で顔を合わせたとき、奥さんは少し落ち着きを取り戻し、会葬への感謝を述べてくれました。私たちは、慰めの言葉を口にしつつ、告別式の席を後にしたのですが、本当の慰めはどこからくるか、祈りつつ考えさせられていました。

並木 信一



8月第一例会(直前会長感謝会)・報告 書記:小口

日時:2024年8月10日(土)16:30~18:30

場所:八王子駅北口 居酒屋「北海道」

担当:B班(大久保、花輪、望月、並木(真))

出席者 18名(敬称略)佐藤、稲葉、長谷川、並木(真)、花輪、久保田・佐和子、山本、大久保、並木(信)・雍子、菅野、小口

ゲスト・福田勝江、西川あゆみ、湯浅まなみ

ひつじくも・折原美結、藤原湧介

司会・花輪さん、

プログラム①会長挨拶(並木真会長) ②会長よりゲスト・ひつじくも紹介 ③直前会長並木真氏への感謝の言葉と記念品授与・久保田副会長

会食・乾杯(会長)、美味しい北海道料理、出席者全員から会長へのメッセージ、ほか一言。

報告事項:会長より

9/28の東京YMCAインターナショナル・チャリティランに多くのワイズのボランティアを募集していますので、よろしくお願いたします。場所は、都立木場公園コース。

- ① ボランティアの内容は、コース誘導、会場記念品渡し等。応募の締切は9月15日。チラシ。
- ② 8月24日(土)は第二例会。9月14日(土)21日(土)の例会日は30周年記念日準備会。
- ③ 東日本区より配布のサポートファンド献金のお願い。
- ④ 9/28(土)富士山例会(富士五湖クラブ主催)

ハッピーバースデー・並木美奈子さん

全員で写真撮影、6時半に解散

2024年8月第二例会・報告 書記小口

日時:2024年8月25日(土) 18:00-20:00

会場:北野事務所2F

出席者:長谷川、稲葉、久保田、並木(真)、望月、花輪、山本、大久保、菅野、小口、10名

報告事項

・八王子クラブ関係

(1)8月第一例会(直前会長感謝会)8月10日(土)4:30~八王子駅隣、居酒屋「北海道」

参加者・メンバー13名、ゲスト5名(ひつじくも2名含)

合計18名

これからの例会予定

☆10月12日までの各例会日(9/14、9/21、10/12)を30周年記念例会の準備例会とする。

(1)30周年記念誌と記念会の打ち合わせ事項

9/14(土)と9/21(土)の作業

- ・記念誌レイアウト・8月30日までに集まった原稿と写真を山本さんがまとめて起こし、その原稿(本文)と写真との調整、全員でチェック。表紙見本を山本さんで試作、
- ・各自の原稿は、8月30日までに。会員の言葉は、約500字、顔写真。

10/12(土)の作業

- ・記念会当日の役割確認、段取りの打ち合わせを詰める。
- ・ひつじぐもの記念会出席者にも12日に来て頂き打ち合わせをする。
- ・記念会に高雄ポートクラブ7人の来会者への対応
来日・10月25日 China Air 成田着 12:30 →久保田さんが成田へお迎え。

・歓迎会・25日の宿泊先に到着後、歓迎会をどうふ屋うかい大和田へご案内。17:30までに。

八王子組出席者9名:花輪、長谷川、稲葉、山本、大久保、久保田メン・メネット、福田、小口(9名)会食代5500円

- ・記念会は高雄ポートクラブ7名と孫さん(東京在住)
- ・26日記念会の後の打ち上げ予定・先日の八王子駅隣の居酒屋、北海道。
- ・27日八王子滞在 ・28日午前中に帰国予定。

☆12月クリスマス例会12月14日(土)担当C班、昨年と同じく、例会、祝会ともに阿部さん永町さんのご姉妹の演奏をお願いした。

ワイズ・YMCA 関連

- ・8/8~11 ワイズ国際大会、タイチエンマイ
- ・9/6~8 YVLF(YMCA 山中湖)並木会長、小口参加現在のワイズ参加者35名。
- ・9/21(土)甲府21クラブぶどう棚納涼例会参加者(花輪、久保田、長谷川、岡垣、小口)2:30に解散、その後、八王子クラブ例会に出席。岡垣氏は久保田友人(高尾山)

・9/28(土)東京YMCA第38回インターナショナルチャリティーランのこと。

場所:都立木場公園 ボランティア募集、申し込みは各自で、締めきり日、9・15まで。

例年通り、エントリー1チーム(10万円)として高尾の森わくわくビレッジチームに参加でクラブから3万円、YMサービスから7万円。走者6名・メン、メネット、学Y、わくわく職員。

・東日本区サポートファンド献金のお願い、について(会長から説明と全員話し合い)

ファンド期間 2024年8月~2025年4月、区大会の代議

員会で質疑応答された課題でもある。

この5年間の東日本区の決算をみると、以前の年度から200万円ずつの赤字が出ていることで、今年度も同じようなことになり、来年度には繰越金がマイナスになる。理由は、クラブが無くなったことによる会員減少問題で収入が減った。区への寄付も減少。円安が続き、国際へ納める金額が大幅にアップ。収入減が一番の問題。これらの理由で、区費をアップすると、必然的にクラブ会費を上げることになるので、それより、不足予算の120万円をどのように捻出するかで、今回はサポートファンドを仰ぐことになった。

1口1万円が提案されている。八王子クラブとしての考えを話し合った。その結果、クラブ単位としては、スマイルからではどうだろうか。今年はそれから初めては。後は、個人の寄付(1口1万円)も受け付けられている。(以上)

9月お誕生の方

大久保重子さん 9月12日

稲葉憲司さん 9月17日

先月の例会ポイント (8月)

在籍	12名	切手	0g	計45g
メン	11名	現金		0円
メイキャップ	1名	累計		0円
出席率	100%	スマイル		0円
メネット	2名	累計	12,	000円
ゲスト	3名	オークション		0円
ビジター	0名	累計		0円
ひつじぐも	2名			

